

# 環境教育「まず、今できることから」

## 歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会  
編集者：代表幹事 高橋 賢一  
連絡先：市民活動支援センター  
尾張旭市渋川町三丁目5番地7  
(渋川福祉センター内)  
TEL 0561-51-2878



▲ 東部保育園

▼ 中部保育園



きれいなまちづくり  
キャンペーン スタート

27年度けん玉でまちづくりキャンペーン



あおぞら保育園

海藻や植物がフトレンなどを併せて藻類とよび、そのレバルに人間がやどしている。たというニュースに、あらためて自然の知恵の深さを知ら、太陽光と水と二酸化炭素(CO2)を使って糖質などのマテリアルを産み出す光合成の新技術を東芝が開発したという。

人工光合成により光のエネルギを燃料エネルギーに変える効率や、世界最高の15%の藻類に回収するそう、た人工光合成は宇宙の最優先テーマだ。

無尽蔵の太陽光と温暖化の悪役CO2が元手なので資源不足も環境悪化も解決できる。難しくても植物はもうやわら。歩道も埋め、大きな葉に絡ませてごみ収集所に集まった落ち葉一枚一枚に人がまた解けぬ謎がひそむ。つくづく自然は奥深い。

小学校の教員  
後、子どもたち  
を指導する  
とき、言葉で  
説明するより  
実践をとおして  
聞いた。  
みんなが使う  
文房具、ニップ  
に多刺をつけ、  
ていとうの、た  
たえば、赤いほ  
さみは、ほさ  
で青は、じやう  
ン、ピンクは、カ  
ニ、ルといった  
外国産、ま、ま  
の、の、今、ま、も  
あるらしい。  
「ねえ、はなこ  
多刺がつくと、  
子どもたちは  
それだけで、丁  
に扱い、使った後  
もきちんと片付ける。



西山保育園



川南保育園